

Renak

タップダンス



RenaK/レナケー

2008年にHIDEBOHや浦上雄二のリズムタップに感銘を受け、タップダンスのめり込みました。

その後10年間の実績をもっており、2016年にはニューヨークの『Rhythm in Motion』にてソロ出演を果たし、ニューヨークタイムズ紙で独自の表現を賞賛されました。

現在も“スタイルの追求”と“感情表現”に視点を当て、数々の作品をクリエイトしています。

活動記録

★タップダンスバトル『Challenge』にて女性唯一のベスト4入り

★ニューヨーク『Rhythm in Motion』ソロ出演

★Tokyo International Tap Festivalプレゼンツ

『JTSP Thanks Live』『タップナイト2017』振付、出演

etc...

